

新「柏市」が誕生

沼南町と合併、人口 38 万

柏市と沼南町との合併が二十八日に成立し、新柏市が誕生した。新市の人口は約三十八万人で県内五位、面積は一一四・九〇平方キロメートルで同十位。平成の大合併」とし、合併当日の二十八日

は、旧沼南町役場を改修して支所機能などを持たせた沼南庁舎の開庁式が行われ、本多見市長らが職員を前に、新市の誕生と新しい市民サービスの窓口の開設を祝った。

(関連記事 15 面)

沼南庁舎もオープン

議場では議員初顔合わせ

新柏市、誕生

柏市と沼南町の合併により「新柏市」が誕生した二十八日、沼南地域の行政サービスの拠点として、町役場を改修した柏市沼南庁舎の開庁式と、新市議会議員の議場での初顔合わせが行われた。

同日合は、一階が市民サービスの窓口となる市役所支所で二、三階には市教育委員会事務局が入居している。

また午後からは、市議会議場で合併により柏市議となった旧沼南町議と柏市議、市執行部との初顔合わせがあった。

同日議会の議席は合併特例法による暫定処置として五十三(柏三十三、沼南十七)となり、県内では〇三年六月に旧関宿二番目の大所帯となった。合併により五十二

(一面に本文記事)

午前八時からの式典では、本多見市長が「両市市民の熱心な議論と協議の上により合併が成立しました。沼南支所を窓口とし沼南町の歴史と伝統

を継ぎ、新しい歴史をつくりましょう」とあいさつ。藤川清前町長が「新柏市の職員として新しい住民のニーズに応えられるよう尽力してください」と祝辞を述べた。

続いて、合併発表ボスターコンクール最優秀賞の勝矢沙希さん(手賀中二年)、優秀賞の勝矢仁美さん(同三年)、泉沙紀さん(高柳中三年)が庁舎銘板を献呈し、本多市長が庁舎玄関前でテーブルカットを行った。



テーブルカットを行う本多市長(左から2人目)、藤川前町長(同3人目)ら

なお、合併記念式典は来月二十六日、市民文化会館で行われることになっている。